

第57巻・第1号 平成21年1月1日発行

牧草と園藝

1月号
2009

今こそ自給飼料を増産しましょう!



謹賀新年



平成21年の新春を迎え、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より弊社事業につきまして、特段のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は年明け早々の株安に始まり、原油や穀物など原料・資材価格の高騰を受けた製品の相次ぐ値上げ、さらには米国金融大手の破綻が世界的な金融不安や世界経済の減速を招き景気は後退局面へと、めまぐるしい変化を見せた一年でありました。昨年後半に入って原油価格が下落、穀物相場も落ち着きを見せていますが、BRICsを始めとする新興国での需要の拡大、また、世界各地で頻発する異常気象や水資源の枯渇などを背景に穀物生産・供給の不安定化は今後も増大するものと思われ、中期的な穀物需給の逼迫、生産資材価格の上昇は避けられないものと考えられます。

今後、わが国の農業、酪農・畜産経営を取巻く環境はより一層厳しさを増していくと思われ、また、食の安全・安心や安定的な供給、地球温暖化を含めた環境問題に対する国民の関心・社会の要請もますます高まっていくものと思われまます。このような中、自給飼料の増産や未利用副産物の活用など国産資源をベースに置いた経営基盤の強化とともに、環境への配慮も含めた持続型社会の構築へ向けて農業や酪農・畜産業界が果たすべき役割は大きいものがあると考えております。

弊社は創業者である黒澤酉蔵翁が提唱した「健土健民」を企業理念に、自給粗飼料である牧草・飼料作物種子、乳牛用・肉牛用の配合飼料製品、また、食品副産物を活用したウェット飼料、良質なサイレージ発酵を促す乳酸菌などの酪農畜産事業を中心に、安全・安心や低コスト生産をサポートする緑肥作物や野菜種子などの畑作園芸事業、豊かな生活とともに環境に配慮した芝草種子・緑化技術などの環境緑化事業まで、幅広い分野で事業を展開してまいりました。昨年秋には雪印乳業(株)との連携強化・共同開発の第1号として「溶けやすさ」と「機能性」をアップした新代用乳を発売、また、北海道と締結している「北海道連携協定」の一環として自給飼料増産のための専用播種機を用いた草地簡易更新技術の実証・普及の推進、コミュニティスポーツとして人気が高いパークゴルフの首都圏での普及をめざしたパークゴルフ場(千葉県酒々井町)の建設・オープンなど、新たな時代への取り組みも開始いたしました。

今こそ創業の原点に立ち返り、長年に渡って培ってきた技術やノウハウを活かして、日本の食・農業・環境への貢献、資源循環型・持続型社会の実現へ向けて取組んでいきたいと考えております。本年も農業、酪農・畜産の生産現場から幅広い生活分野に至り、数多くの商品と技術を取り揃え、皆様のご用命をお待ち致しております。

新年を迎えるにあたり、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

平成21年 元旦

雪印種苗株式会社

代表取締役社長 掛村 博之